

## 事務事業評価調書

事務事業名	市報すいた発行事業				
担当部署	総務部	室課名	広報課	室課長名	東田 康司

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和25年度	改正内容	発行回数を月2回から月1回に変更。																	
(2) 直近の改正	平成24年																			
(3) 根拠法令等	市報すいた発行規則																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	02	細節	40													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	市民及び市内外の公共交通機関16駅利用者																	
	目標 (どうい状態にしたいのか)	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。																		
(7) 事業概要	市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた広報紙(A4冊子)を発行。市内全戸と市内外16駅に配布。視覚障がい者向けに音声版(テープ、CD)と点字版を発行。市ホームページにHTML版とPDF版を掲載。																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		83,186	77,852	86,222	77,945	83,343													
	人件費	職員数	3.00	3.00	3.20	3.20	3.20													
		総額(B)	千円	25,056	24,117	26,144	25,280	25,767												
	総事業費(A+B)		108,242	101,969	112,366	103,225	109,110													
	特定財源(C)		8,791	8,261	7,411	8,545	7,643													
	(内訳)	国	1,741	1,152	1,452	1,053	1,387													
		府	830	515	684	468	637													
		その他	6,220	6,594	5,275	7,024	5,619													
	市負担(D)		99,451	93,708	104,955	94,680	101,467													
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0													
		その他	0	0	0	0	0													
一般財源		99,451	93,708	104,955	94,680	101,467														
財源計(C+D)		108,242	101,969	112,366	103,225	109,110														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 高速オフセット																	
			② ヤマツーナッジ、シルバー人材センター等																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 市内ボランティアグループ2団体、府視協等																	
			①校正・印刷②配布③点字版と音声版作成																	
<input type="checkbox"/> その他		内容																		

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 市報すいたの年間発行部数(市内世帯、駅置き、庁内配布、郵送等を含む)。	目標値 (単位:千部)	2,064.00	2,079.80	2,110.85	
		実績値 (単位:千部)	2,079.80	2,110.85		
		達成度(%)	100.8	101.5		
	目標値の積算方法 前年度の実績をもとに、世帯数の増減等を加味して設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	49.03	49.31	
		一般財源(単位:千円)	45.06	45.26		
	② 指標内容 市報すいたの各号の総ページ数。	目標値 (単位:ページ)	684.00	657.00	634.00	
実績値 (単位:ページ)		657.00	634.00			
達成度(%)		96.1	96.5			
目標値の積算方法 前年度の実績をもとに、掲載依頼件数の増減や特集などの実施を加味して設定。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	155.20	164.18	
		一般財源(単位:千円)	142.63	150.70		
(2) 成果指標		① 指標内容 市民意識調査で、「市からの情報発信」に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」と答えた市民の割合)。	目標値 (単位:%)	78.80	78.80	78.80
	実績値 (単位:%)		25.90	25.90		
	達成度(%)		32.9	32.9		
	目標値の積算方法 同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,937.03	4,018.88	
		一般財源(単位:千円)	3,618.07	3,688.96		
	② 指標内容 市民意識調査で、市報すいたを「市政に関する主な情報源」と答えた市民の割合。	目標値 (単位:%)	100.00	100.00	100.00	
実績値 (単位:%)		81.50	81.50			
達成度(%)		81.5	81.5			
目標値の積算方法 同調査で、回答者全員が主な情報源と回答。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,251.15	1,277.17	
	一般財源(単位:千円)	1,149.79	1,172.32			
(3) が困難な場合	① 活動内容		目標			
	② 成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	<p>市民意識調査で、「吹田市政に関する主な情報源」に、市報すいたをあげた市民の割合は81.5%で、次点の自治会の回覧版21.5%や吹田市ホームページ18.0%を大きく引き離す結果となった。市政への市民参加や市民との協働を進める上で、市報すいたが果たす役割は大きく、今後も市民と市のパイプ役としてわかりやすい情報の提供に努めていく必要がある。</p> <p>一方で、市民意識調査において、「市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなど市が発信する情報」に満足している市民の割合が、平成26年度調査で25.9%と低調なことから、内容面の充実を図る必要がある。</p> <p>また、市報すいたは、平成27年1月にリニューアルを実施。文字・写真の拡大やインターネットツールとの連携を行い、広報懇談会や市民から寄せられるハガキでは高評価を得ている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	市報すいた発行事業	事業区分	その他
事務事業番号	00022				

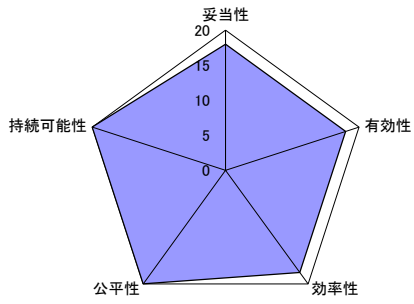
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	広報課	事務事業番号	00022
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>直近の市民意識調査の結果で、「吹田市政に関する主な情報源」として市報すいたをあげる人の割合が80%を超えていることから、市政への市民参加や市民との協働を進めるツールとして、市報すいたの発行は必要不可欠と考えます。</p> <p>また、人口に占める高齢者の割合が21%を超える超高齢社会を迎え、文字・デザインなど高齢者に配慮した紙面づくりに取り組む必要があります。一方で、30歳未満の人には、市報すいたの活用が低い状況にあるため、30歳未満の人にも読んでもらえるような紙面づくりが必要であると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	広報番組制作放送事業				
担当部名	総務部	室課名	広報課	室課長名	東田 康司

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成3年度	改正 内容	制作本数を年52本から36本に、放送回数を1日5回から2回に変更。インターネット動画配信(番組全編)の開始。											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	02	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民及び本市に関心を持つ者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。													
(7)	事業概要	市政情報の提供や市民活動などを紹介する広報番組「お元気ですか！市民のみなさん」を作成し、ケーブルテレビで放送する。構成は、吹田のトピックス、特集、企画コーナー、お知らせなど。30分番組を月3本制作し、毎日15時と22時に放送。インターネットの動画配信サイトYouTubeを活用し、市ホームページでも配信。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		28,302	28,301	28,301	28,281	28,301							
		人件費	職員数	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50						
			総額(B)	千円	12,528	12,059	12,255	11,850	12,078						
		総事業費(A+B)		40,830	40,360	40,556	40,131	40,379							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		40,830	40,360	40,556	40,131	40,379						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			40,830	40,360	40,556	40,131	40,379								
財源計(C+D)		40,830	40,360	40,556	40,131	40,379									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社ジェイコムウエスト										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	番組制作数	目標値	(単位:回)	36.00	36.00	36.00
			実績値	(単位:回)	36.00	36.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	予算数値から	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,121.11	1,126.00	
				一般財源(単位:千円)		1,121.11	1,126.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	市民意識調査で、「市からの情報発信」に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」と答えた市民の割合。	目標値	(単位:%)	78.80	78.80
	実績値			(単位:%)	25.90	25.90		
	達成度(%)		32.9	32.9				
	目標値の積算方法	同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,558.30	1,565.10	
				一般財源(単位:千円)		1,558.30	1,565.10	
	②	指標内容	市民意識調査で、広報番組を「見たことがある」と回答した市民の割合。	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	100.00
実績値				(単位:%)	27.40	27.40		
達成度(%)		27.4	27.4					
目標値の積算方法		同調査において、回答者全員が「見たことがある」と回答した数値を設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,472.99	1,479.42	
	一般財源(単位:千円)				1,472.99	1,479.42		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容			達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	市民から地域の取組や催しの取材依頼は多く、情報発信媒体としての広報番組のニーズは高い。一方、視聴者から見ると、番組がどの媒体で放送されているのかや、インターネット動画配信を実施していることに対する認知度が低いことが課題となっている。今後、広報番組の内容の充実はもちろん、学生リポーターの活用や市報での番組内容の紹介、ロケ時のチラシ配布などを進めることで番組の周知と視聴者数の拡大を図り、事業の有効性を高めていくことが必要である。 広報番組は音と動きのある情報提供ができる媒体であり、その特性を生かして市民に親しまれる番組の提供に努めていく。						

## 事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	広報番組制作放送事業	事業区分	その他
事務事業番号	00023				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	広報課	事務事業番号	00023
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年度から番組制作本数や放送回数を見直し、事業費の適正化を行っている。  また、平成27年度からは動画配信サイトYouTubeを利用した動画配信を開始し、インターネットを使った視聴環境を整備しており、視聴機会の拡充を図っている。  平成28年度からは番組の構成を見直し、市民がより親しみを感じるような内容に取り組んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	ホームページ事業				
担当部署	総務部	室課名	広報課	室課長名	東田 康司

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正内容	ウェブアクセシビリティ方針及びガイドラインの策定											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	ネットワーク利用ルール運用基準、吹田市ウェブアクセシビリティ方針													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	02	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民及び本市に関心を持つ者											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。												
(7) 事業概要	市の事業や行事の紹介など市民への周知事項をまとめた吹田市ホームページの管理及び運用。市政に関心のある人向けに吹田市役所 Facebook、吹田市部長ブログを活用した情報発信。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		984	376	4,916	3,723	3,755							
	人件費	職員数	人	0.80	0.80	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	6,682	6,432	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		7,666	6,808	13,086	11,623	11,807							
	特定財源(C)		984	2,186	1,749	1,827	1,461							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	984	2,186	1,749	1,827	1,461							
	市負担(D)		6,682	4,622	11,337	9,796	10,346							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	6,682	4,622	11,337	9,796	10,346							
財源計(C+D)		7,666	6,808	13,086	11,623	11,807								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	シーレイシステム										
			②											
			③											
	主な委託内容		ホームページ管理システム保守											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ホームページの年間ページ閲覧数。	目標値	(単位:万件)	1,497.00	1,885.00	1,632.00
			実績値	(単位:万件)	1,714.00	1,484.00	
		達成度(%)		114.5	78.7		
	目標値の積算方法 前年度実績の110%。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.97	8.01	
			一般財源(単位:千円)		2.70	6.78	
		達成度(%)		118.1	75.9		
②	指標内容 ホームページの年間閲覧者数。	目標値	(単位:千人)	1,562.00	2,028.00	1,694.00	
		実績値	(単位:千人)	1,844.00	1,540.00		
		達成度(%)		118.1	75.9		
	目標値の積算方法 前年度実績の110%。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.69	7.72	
			一般財源(単位:千円)		2.51	6.54	
		達成度(%)		118.1	75.9		
(2) 成果指標	①	指標内容 市民意識調査で、「市からの情報発信」に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」と答えた市民の割合。	目標値	(単位:%)	78.80	78.80	78.80
			実績値	(単位:%)	25.90	25.90	
		達成度(%)		32.9	32.9		
		目標値の積算方法 同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		262.86	459.19
	一般財源(単位:千円)				178.46	388.65	
	②	指標内容 市民意識調査で、ホームページの「レイアウトのわかりやすさ」に「非常に満足」「満足」と答えた市民の割合。	目標値	(単位:%)	88.70	88.70	88.70
			実績値	(単位:%)	27.70	27.70	
		達成度(%)		31.2	31.2		
目標値の積算方法 同調査で、「非常に満足」「満足」と答えた市民の割合に、「どちらとも言えない」と答えた人を加えた市民の割合を加算。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		245.78	429.35	
	一般財源(単位:千円)			166.86	363.39		
(3) が指標で場合を示す	①	活動内容		目標			
	②	成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>平成26年度市民意識調査で、「吹田市政に関する主な情報源」に、ホームページをあげた市民の割合は18%と、平成22年度調査の13.2%から4.8%増加しています。スマートフォンの増加等により今後も需要が増加すると見込まれるため、多様な媒体で利用可能なホームページづくりが必要です。</p> <p>一方、同調査において「レイアウトのわかりやすさ」の満足度が27.7%、「欲しい情報の探しやすさ」の満足度が24.9%と、共に低調なことから更なる内容面の充実を図る必要があります。</p> <p>平成27年度にスマートフォンなどタッチパネル式端末に配慮したデザイン、背景色変更機能、多言語翻訳機能などを取り入れ、より使い勝手の良いサイトにリニューアルしたほか、平成28年度から管理システム保守業務について、情報政策室から当課へ移管されました。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	ホームページ事業	事業区分	その他
事務事業番号	00024				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	広報課	事務事業番号	00024
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>インターネットの普及は増加の一途にあり、平成26年度総務省調査ではその普及率は82.8%とされていることから、インターネット環境における情報発信の重要性はますます高まっています。 また、市報すいたは紙媒体であるため情報量に制約があることや、市報すいたの利用率の少ない若年層に対しても、インターネットを用いての情報発信は有効なアプローチとなるため、市民へ市政情報を伝える上で、有効なツールであると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	くらしの友発行事業				
担当部名	総務部	室課名	広報課	室課長名	東田 康司

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	発行形態を官民協働発行に変更し、刷新(経費は音声版・点字版のみ)。											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	02	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民及び吹田市転入者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。													
(7)	事業概要	市役所の窓口や各種手続き等の行政情報と地域の生活情報を掲載した市民向け情報誌「くらしの友」を発行し、市内全世帯及び転入者に配布を行う。また、視覚障がい者向けに音声版(テープ、CD)と点字版を発行。発行は2年に1度。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	253	252	0							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.60	0.60	0.00						
			総額(B)	千円	0	0	4,902	4,740	0						
		総事業費(A+B)		0	0	5,155	4,992	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	5,155	4,992	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	5,155	4,992	0								
財源計(C+D)		0	0	5,155	4,992	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)サイネックス											
				② 吹田声のグループ虹、点訳グループあい											
				③ 大阪府視覚障害者福祉協会、リポート											
		主な委託内容		冊子の校正・印刷作成、配布及び点訳・音訳											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 作成部数	目標値	(単位:部)	0.00	206,000.00	0.00	
			実績値	(単位:部)	0.00	206,000.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法	本市世帯数に次刊発行までの転入世帯数見込を加算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.03	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.03	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 市民意識調査で、「市からの情報発信」に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」)と答えた市民の割合。	目標値	(単位:%)	78.80	78.80	78.80
	実績値			(単位:%)	25.90	25.90		
	達成度(%)			32.9	32.9			
	目標値の積算方法	同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	199.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	199.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		<p>市の制度や手続き方法、施設の概要などの行政情報をまとめた冊子の発行を行い、市民及び新たに本市に転入された方に対し周知を行うことは、市民が豊かな生活を営む上で必要不可欠なものであると考える。平成22年度より冊子に企業広告の掲載を始め、プロポーザルによって選定された事業者がその広告料収入で製本・配布を行うことにより、それまでの経費約2千万円を削減することができた。現在、費用を要するのは、視覚障がい者向けの音声版と点字版の作成に係る経費(平成28年度決算見込みでは25万2千円)のみであり、費用対効果は高いものとする。</p>						

事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	くらしの友発行事業	事業区分	その他
事務事業番号	00025				

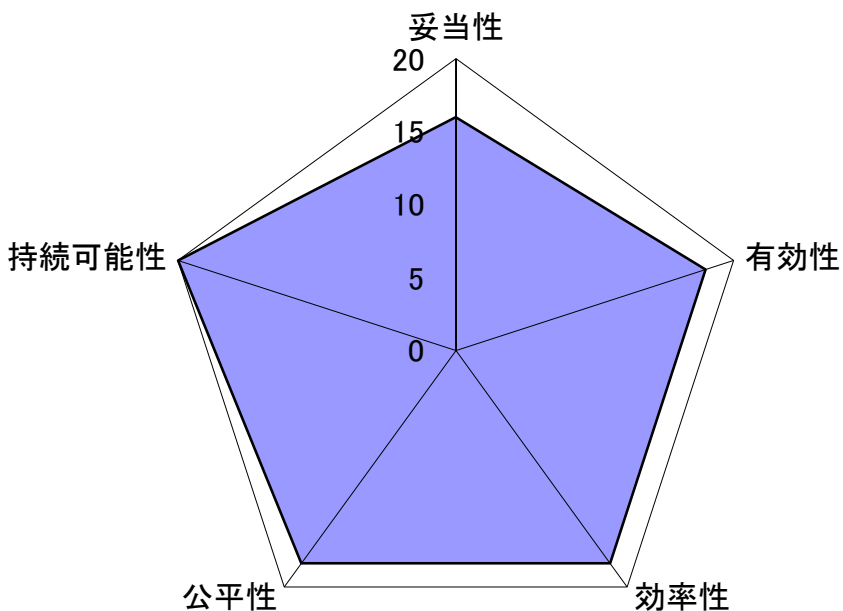
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	広報課	事務事業番号	00025
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度発行分においても企業広告の掲載を行い、プロポーザルで選定された事業者が広告料収入により製本・配布を行うことで、事業費負担の軽減を図ることができた。また、視覚障がい者向けに音声版や点字版の作成を行うとともに、音声版についてはテープ及びCD音声版を作成し、より多くの市民に情報を提供できるように努めている。</p> <p>次回は平成30年度に発行を行うが、ページ構成やレイアウトに配慮し、より見やすい紙面づくりに取り組んでいく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)